

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------------------|
| 施設名 | 樹保育園 |
| 法人名 | NPO法人すぎなみ子育てひろばchouchou |
| 法人所在地 | 東京都杉並区上荻3-22-13 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【どんな音がするかならしてみよう】

【楽器の紹介】

【簡単なリズムをうってみよう】

【リズム合奏】

<テーマの設定理由>

色々な打楽器、楽器に触れて音を楽しむ事から始め、実際の生活の中の音を意識し楽器で表現してみたらどうなるかについて探求してみた。日頃意識せず聞いている生活の音に耳を傾け、楽器の音にも耳を傾け結びつけることで音を楽しんでもらいたいと思った。

2. 活動スケジュール

1回目 10/27(月) 10:00~10:40 【どんな音がするかならしてみよう】

2回目 11/26(水) 10:00~11:00 【楽器の紹介】水の音を探してみよう(雨の音、水道の蛇口から出てくる水の音)

3回目 12/2(火)10:00~11:00 【簡単なリズムをうってみよう】曲に合わせてやってみる

4回目以降 12/9、11、16、17、18 【リズム合奏】ジングルベルに合わせて3つの楽器に分かれて合奏する

12/19(金) お楽しみ会でリズム合奏を披露

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

色々な打楽器、楽器を揃え、子どもたちが自由に触れて音を楽しめるようにした。

水の音を楽器で表現する時には、実際に水圧の違う蛇口の水を出してみられるようにした。

じっくり取り組むことができるよう活動内容によっては半数ずつにわかれて行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 1回目：まずは自分で自由に触ってみて音を楽しむ
半数に分かれ自由にならした音を聞いて自由に踊る
- 2回目：水の音を探してみよう（雨の音、水道の蛇口から出てくる水の音を聞いて楽器で表現してみる）
- 3回目：曲に合わせて簡単なリズムをたたいてみる
- 4回目以降：ジングルベルの曲に合わせて3つの楽器に分かれて合奏する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 1回目の子どもたちの反応：「これどうやってやるの？」
太鼓をたたきながら「ハハハ」と笑ったり、ソーラン節で使ったのを思い出し「ソーラン節だ」「ガーガーってこすっているような音だね」「かえるの音だ」
- 2種類の鈴音の違いをならしてみても「高い音」「低い音」
音を聞いて自由に踊っていいよと言われ、はじめは照れていたが次第に自由に動き出す
- 2回目の子どもたちの反応：「ちょっとだけぼつぼつ降ってる」「小雨みたい」「ざざざって聞こえない？」「雨の始まり」「これ嵐みたい」「雷の大きいみたい」
外の水道の音はと聞くと実際に聞きに行くと「全然違う」「これは東西線の音みたい」
自由にならしていたら「さんぼの曲でやりたい」と声が上がったので歌に合わせる
- 3回目の子どもたちの反応：子どもたちが普段歌っている「そうだったらいいのにな」に合わせて簡単なリズムうちをするが、曲の出だしが難しくなかなか拍が取りにくかった
- 4回目以降： 曲を変えてタンバリン、鈴、カスタネットでリズム合奏
12/19（金） お楽しみ会でリズム合奏を披露



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

生活の中にも様々な音があり、楽器の音で表現するのは難しいかなと思ったが子どもたちは柔軟にやってみていた。今回は実際に聞くことが出来る生活音にしたが今度は絵本の中に描かれている音だったりイメージ状の音を楽器で表してみたらどうなるかをやってみたい。